

令和 8 年度実施事業
意見聴取シート
とりまとめについて

資料④-1

基本方針	1：プロモーション強化
主たる具体的な手法	①岸和田の観光資源を知ってもらう基本的な観光情報の発信の強化

A：事業の方向性

【事業概要】

- ・ 情報発信の強化
(例：本市ウェブサイト、SNS、観光振興協会SNS 等)

【事業効果・効果指標】

- ・ 本市の認知度向上、閲覧数、フォロワー数、SNS発信数、滞在時間

B：Aに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

- ・ より観光客に響く（共感を与える）プロモーションを考える
- ・ ターゲットに合わせた観光情報の発信を強化出来るよう、アクションプランに反映出来れば良いと思います。

C：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】

・ 訪日外国人向けには旅マエに情報収集してもらえる媒体への掲載が望ましいと思います。国内の若者向けにはインフルエンサー等を用いたSNSでの情報発信、シニア層向けには紙媒体のパンフレット等、ターゲットに合わせたプロモーション戦略をたてられれば良いと思います。

基本方針	1：プロモーション強化
主たる具体的な手法	②観光コンテンツに興味をもってもらうキャンペーンや民間媒体の活用

A：事業の方向性

【事業概要】

- ・民間事業者の広告媒体を活用した発地プロモーション強化
（例：交通機関の広告、民間事業者の事業への参画 等）

【事業効果・効果指標】

- ・本市の認知度向上、サイト閲覧数、SNS発信数、協力事業者数

B：Aに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

- ・だんじり祭りの機運を高めるために、南海電車で「だんじりラッピング車両」を運行

C：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】

基本方針	1：プロモーション強化
主たる具体的な手法	③多様な主体との連携強化

A：事業の方向性

【事業概要】

- ・フィルムコミッションの推進
- ・大阪観光局との協働事業のブラッシュアップ

【事業効果・効果指標】

- ・本市の認知度向上、閲覧数、SNS発信数、協力案件数

B：Aに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

- ・単体ではなく共同、合同でプロモーションを行う事によりインパクトを重視する
- ・岸和田市の名前を知ってもらうために、岸和田市出身の著名人とコラボすることを検討
- ・ツーリズムEXP0や大阪DCキャンペーンといった岸和田の観光発信の場は今後も重要視すべきだと考える。これ以外に、自治体として参加できるものがあれば積極的に取り組むべき。

C：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】

- ・ストーリーを意識した近隣市町との連携によるテーマ型周遊コースの設定と共同プロモーション
- ・コシノ3姉妹や清原和博さんを広報活動に起用。
- ・南海電鉄と連携し、だんじり祭り前の最低1か月間実施し、SNSでの拡散を狙う。
- ・商談の場には魅力的な観光コンテンツやブース制作が重要だと思われる。岸和田だんじり祭の優位性を伝えるとともに、新しい観光コンテンツ（食やサイクルツーリズム）を個別に伝えるのではなく、めざすは「海の京都」や「お茶の京都」のようなストーリーとして伝えることが重要。

基本方針	2：観光コンテンツの充実
主たる具体的な手法	①だんじり文化を活かした通年観光の促進の強化
A：事業の方向性	
【事業概要】 ・だんじり文化を活かした新たなコンテンツの開発 【事業効果・効果指標】 ・本市の認知度向上、関連サイト閲覧数、参加者数、参加者のSNS発信数、満足度、だんじり会館企画事業への活用等	
B：Aに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）	
・「珍しい体験」好きなインバウンドの方を取り込むために、「だんじり文化」を最大限活用する。	
C：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案	
・1日～数日だけの体験ではなく、最低1か月間地元の家に住み込み、だんじり文化を体験していただく。（その模様をNHKなどの番組に取り上げていただく）	

基本方針	2：観光コンテンツの充実
主たる具体的な手法	②豊富な特産品を活かした「食」観光の推進

A：事業の方向性

【事業概要】

- ・市域全体を活用した「食」コンテンツの開発
（例：コンテスト、コンクール、磨き上げや発掘 等）
- ・岸和田城周辺を活用した「食」コンテンツの開発
（例：二の丸広場や五風荘など連携したイベント開催 等）
- ・新たなお土産の開発

【事業効果・効果指標】

- ・本市の認知度向上、申込サイト閲覧数、申込・参加者数、参加者のSNS発信数、満足度、造成・開発・ツアー催行数、協力事業者数、消費額

B：Aに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

- ・「珍しい体験」好きなインバウンドの方を取り込むために、岸和田市発祥の「食」文化を活かす。

C：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】

- ・岸和田発祥の「かしみん焼き」を、インバウンドの方に作り方や焼き方を体験していただく。

基本方針	2：観光コンテンツの充実
主たる具体的な手法	③豊かな歴史資源を活用した体験型コンテンツの開発と発信

A：事業の方向性

【事業概要】

- ・岸和田城周辺を活用した四季に応じた観光コンテンツの開発
(例：リニューアルに向けたイベント、節句やクリスマス 等)
- ・市内全域を活用したコンテンツの開発
(例：既存ツアーのブラッシュアップ、新規ツアー造成 等)

【事業効果・効果指標】

- ・本市の認知度向上、申込サイト閲覧数、申込者数、参加者のSNS発信数、満足度

B：Aに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

- ・「珍しい体験」好きなインバウンドの方を取り込むために、岸和田市発祥の「食」文化を活かす。
- ・単体ではなくストーリーを意識したコンテンツの造成
- ・歴史資源を活用した体験型コンテンツの開発と発信は、観光客の満足度にも繋がる場所であり、観光戦略に必要と考えます。だんじりだけではなく、岸和田市の魅力を改めて見つめなおし、発信出来ると良いと思います。

C：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】

- ・岸和田発祥の「かしみん焼き」を、インバウンドの方に作り方や焼き方を体験していただく。
- ・ストーリーを意識した近隣市町とのテーマ型周遊コースの設定
- ・観光コンテンツの拡張、掛け合わせによる面での展開（例：ふるさと納税の活用など）
- ・地域資源を活かした体験プログラムを開発出来れば、岸和田市に興味を持ってもらう、きっかけとなるのではないのでしょうか。
- ・観光コンテンツに関しては、モデルコースを作成（体験型コンテンツ→食事→観光→お土産のコースなど）して充実度を上げてはいかがでしょうか。

基本方針	2：観光コンテンツの充実
主たる具体的な手法	④観光コンテンツの周遊促進の強化

A：事業の方向性

【事業概要】

- ・サイクルイベントのブラッシュアップ

【事業効果・効果指標】

- ・本市の認知度向上、サイト閲覧数、イベント来場・参加者数、参加者のSNS発信数、ツアー催行回数

B：Aに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

- ・基本方針1のプロモーション強化を行うためには魅力的な観光コンテンツが必要。そのために、岸和田市内での半日観光や1日観光、泉州エリア観光といった新たな観光コンテンツやルートの開発が重要ではないか。

C：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】

- ・交通弱者と呼ばれる人が市内観光資源の周遊が容易にできるために、バス事業者やタクシー事業者等と連携してはどうでしょうか。
- ・サイクルツーリズムは岸和田市をはじめとする泉州エリアでは非常に潜在力があるのではないかと。岸和田市の海側のサイクルルート、泉州エリアをまたぐサイクルルートなどを造成することで、新たな観光イメージ形成ができると考える。

基本方針	3：受入体制の整備・充実
主たる具体的な手法	①市民や事業者等が一体となって観光振興に取り組む機運醸成

A：事業の方向性

【事業概要】

- ・事業者等との協働によるまち歩きツアー

- ・観光アンバサダー発掘

- （例：公募の実施や養成講座 等）

【事業効果・効果指標】

- ・本市の認知度向上、申込サイト閲覧数、申込・参加者数、協力事業者数、認定数、認定者アカウントのフォロワー数

B：Aに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

- ・観光に対する市民への理解促進は継続して行っていく必要があると思う。

- ・「だんじり祭」に、インバウンドの方々を本格的に受け入れる体制を整備する。

C：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】

- ・インバウンドを長期間受け入れる町会を公募し、その町会を金銭的に支援する仕組みを作ってはどうか。

基本方針	3：受入体制の整備・充実
主たる具体的な手法	②生活にも配慮した観光地としての基盤整備

A：事業の方向性

【事業概要】

・観光受入体制の整備

(例：デジタルサイネージの導入 等)

・アプリの活用

(例：周遊促進や観光案内、その他モデルコースの設定 等)

【事業効果・効果指標】

・閲覧数、コース数、スポット通過数

B：Aに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

- ・手ぶら観光が増えてくることを想定した交通インフラの整備（安全な徒歩道、自転車道の整備、案内看板の設置）
- ・荷物預かり所（コインロッカー含）の積極的な告知、観光客がお金を落して頂ける施設の整備
- ・観光マップや観光解説板の整備は、既存のものや各事業者が作成しているものも含め、乱立することがないように、市内全体をとりまとめて整備出来れば、観光客にとっても分かりやすいと思います。
- ・観光マップの多言語化などが進められているが、障がい者対応トイレや授乳対応場所など、様々な観光客が安心して観光するための情報が必要ではないか。

C：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】

- ・安全な徒歩道、自転車道の整備、案内看板の設置
- ・荷物預り所（コインロッカー含）の積極的な告知、お金を落して頂ける施設の整備
- ・交通弱者と呼ばれる人が市内観光資源の周遊が容易にできるために、バス事業者やタクシー事業者等と連携してはどうでしょうか。
- ・観光で訪れた際に、様々な観光ガイドが乱立していると、観光客にとっても非常に困るので、岸和田市を観光する際は、まずここを見て欲しいといメインになるコンテンツがあると、観光しやすいのではないかと思います。また、訪日外国人への案内（宣伝物）ですが、地名や建物の名称だけを外国語に変えても全く理解されないと思いますので、全てを外国語で網羅した宣伝物を作成してはいかがでしょうか。（英・韓・中バージョン）
- ・インバウンドだけでなく、国内からの旅行者もキャリーケース利用が増えているため、ロッカーや預け場所の情報開示が必要。その他、より細かいトイレ情報（おむつ替えシートがある、キッズでも使える等）や授乳ルーム、おむつ替え（男性でも利用できるかどうか）など、基礎的な観光情報を整備すべきではないか。

基本方針	3：受入体制の整備・充実
主たる具体的な手法	③歴史や文化を次世代に継承するための調査研究や市民への講座

A：事業の方向性

【事業概要】

- ・観光関連講座の実施
（例：市民向け、職員向け、事業者向け、ボランティアガイド 等）

【事業効果・効果指標】

- ・本市の認知度向上、申込サイト閲覧数、申込者数

B：Aに対する委員からの意見取りまとめ（事業・評価項目等）

- ・『観光創造ビジョン岸和田』p.56⑥に記されるように、観光地として盛り上げるためには、市民への啓発が必要ですが、今のところ不十分かと思います。岸和田市の観光政策方針（観光創造ビジョン岸和田）を市民に周知し、市民に認知してもらい、協力を得るための方策をさらに考えて、推進する必要があるのではと思います。

C

：アクションプランに沿った取組みイメージについての委員からの提案

【事業提案】